

議論 百出の結果

二十六日午前九時より市役所棟上にて市会議員區長聯合の緊急協議會を開き市長は簡潔に開會の主旨を述べて曰く製鐵所職工が前後二回に亘る同業を爲したるに付いては製鐵所としては大に御困りのこと存じます随つて國家の非常なる損失なるのみならず八幡市の受くる影響は容易ならぬことと思ひます市中小の商店は殆ど休業の状態であるが此状態が今後永続するに於ては市は有形無形に及ぼす影響は少なからぬのと思ひます爲に益々悲境に陥らざるを期して此際何か名案はなきか諸君の御意見を承はり度く御意見を煩らした次第であります

次に職員中製鐵所の事情に精通せるものより詳細に新聞記事するは恰も死兒の命を計ふるに可ならん云ふものも之れあり夫れより差當り各區に於て區長組長(區長の下役等)をして市内に散在する職工個別に對し市職工の諸君の主旨を徹底せしめ其反省を促すことには如何其他區々の意見もありたる様なるが結局不干渉の地位に立ち製鐵所に對し挨拶旁市としての禮儀を表する爲め委員を選任したり但副議長市参事會を以て委員に充つることとし

双方の誤解か

長官は逃げたのではないと云ふ職工は不埒な態度だと憤慨

製鐵所が既に無期休業を断行せしに付今更こんな事を詮議立てせるものより詳細に新聞記事するは恰も死兒の命を計ふるに可ならん云ふものも之れあり夫れより差當り各區に於て區長組長(區長の下役等)をして市内に散在する職工個別に對し市職工の諸君の主旨を徹底せしめ其反省を促すことには如何其他區々の意見もありたる様なるが結局不干渉の地位に立ち製鐵所に對し挨拶旁市としての禮儀を表する爲め委員を選任したり但副議長市参事會を以て委員に充つることとし

無期休業後の焼爐を見く二十五日午後三時過東に入り熔鑪爐迄の間して人影なく其寂も無人の地に入らか如に焼爐爐より落下する湯水聲を聞くときは身は深に在りて景色蒼然哀愁の感のがした事務室に訪ひ中止に就いての言葉を叩いて見に岡氏の口は無ひものです併し再

休業斷

前田侯夫妻の出發佛國へ

歐米へ出張仰付けられ佛國へ赴くべく参謀本部副官侯爵前田利爲大尉は夫人洋子共に二十三日八時三十分東京驛を出發したり尚侯は途中伊弉神宮桃山御凌に参拜二十六日神戸熱田九にて渡歐せり

製鐵所が突然廿九日無期休業を爲せしは如何なるに基くものなるか探問するに依れば前同盟休以來職工一擧労働振りを見るに情氣滿々生産能率益々減退するのて斯かる状況の下に作業を維持するに於ては徒らに將悪習慣を胎すの虞がある正直に勸勉せるの職工に對しては誠に誠の誠あり併しながら大勢上已むを余涙を揮つて断行を宣明した



唯に説示せられたるこの加藤氏の申入れに對し長官明日部課長會に諮り取極の上指示の日時を定め御返すべしと約束せしむる事は加藤氏の告演説にて三四回も聴取せしことなきが今に至り此間に於て入なる意思の齟齬あり

加藤氏の言ふ如く明確に親らひ事業に就く見込るか是亦職工に對し説示すべしとの約束職所の考へは職工の気分心理を爲したりは感じ得らざる何か態が愈々鎮靜安定するでなければよしと心得各工場主任を各職工に付いては無論長官より之れより職工に傳達すべく令電報に依らるものと思ふが職見の在る所を説示されたりちそうでもなむしひ留字居